

令和5年度

# 小・中学生フォーラム in 落合第一小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月11日（火）、落合第一小学校（中落合2-13-27、校長：松井賢仁）の6年1組29名、2組29名、3組29名が、「落合歴史探訪から見るこれからの落合」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちはグループごとに、林芙美子や佐伯祐三などの文化人、地元の神社の歴史、おとめ山公園や坂の名前の由来など、落合の地に刻まれた歴史を、現地にも足を運びながら調査し、スライドにまとめて発表しました。こうした歴史探訪を踏まえ、これからの落合の目指す姿として、活気あふれる商店街、環境にやさしいまち、思い切り遊べる場所、事故がなく安全、緑が豊か、歴史や文化を大切になどを掲げ、現状の課題と改善案を発表しました。

児童たちの発表を踏まえて、区長からは、落合に歴史遺産が多く残っている理由を説明したり、ゴーヤの苗の配布、自転車用ヘルメットの助成、商店街のスタンプラリーなど発表内容に関わる取組を紹介したりしながら、活発に意見交換を行いました。最後に、児童たちの改善案の実現のために、「地域の人たちとルールづくりをし、それを守ることを通じて、少しずつできることを広げていけるのでは」とアドバイスがありました。

落合のまちの歴史を訪ね、地域の課題を調べて改善案を考えることで、自分たちの暮らす地域についてより深く学ぶきっかけとなった有意義なフォーラムとなりました。

